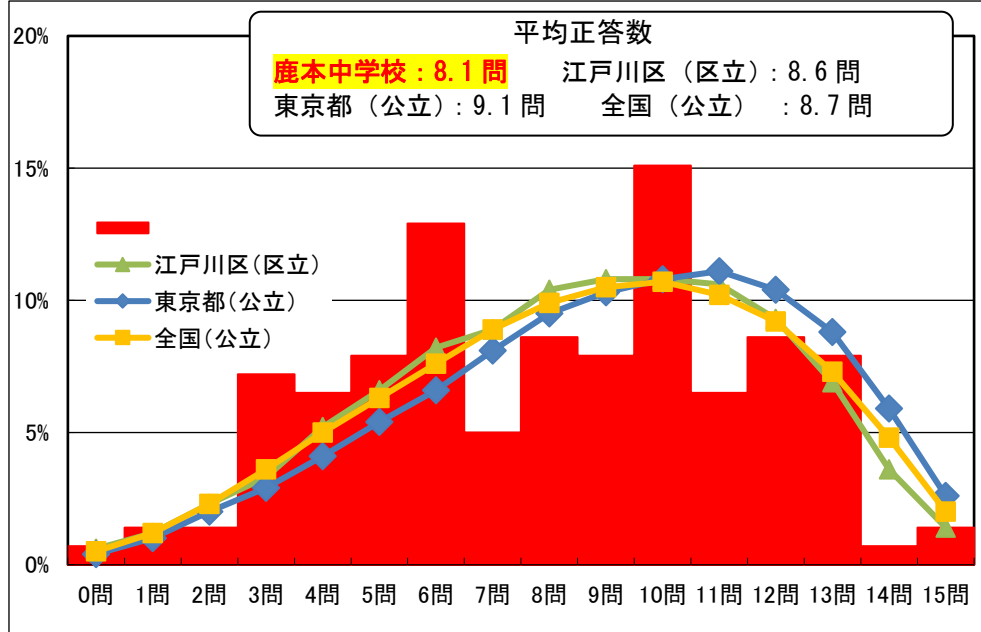
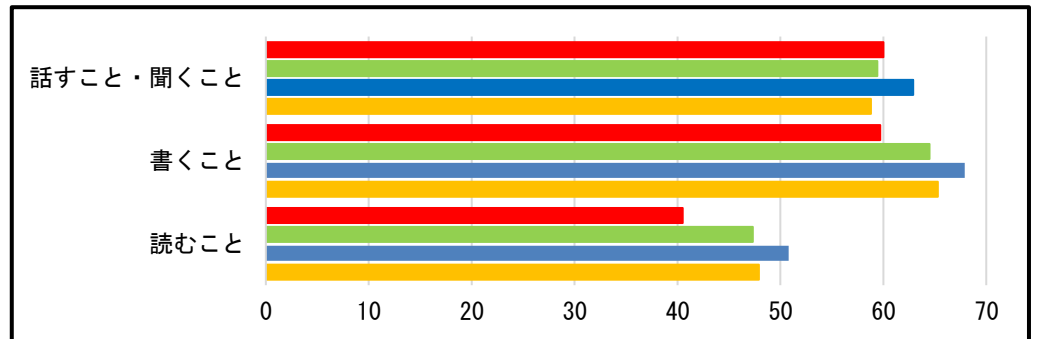
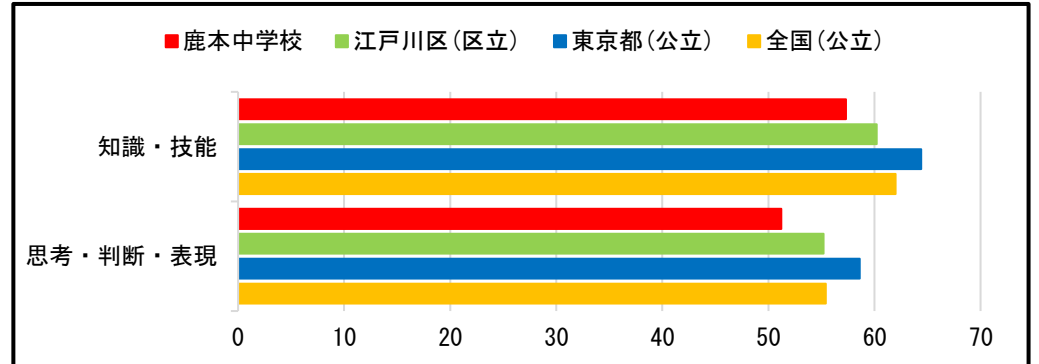


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 鹿本中学校

正答数分布



「領域別」の結果



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

国語	上位 ← 下位			
	A層 12~15問	B層 9~11問	C層 7~8問	D層 0~6問
鹿本中学校	18.6	29.5	13.6	38.0
江戸川区(区立)	21.2	32.2	19.3	27.3
東京都(公立)	27.7	32.2	17.6	22.5
全国(公立)	23.3	31.4	18.8	26.5

【平均正答率の差】

鹿本中学校	54%
江戸川区(区立)	57%
東京都(公立)	61%
全国(公立)	58.1%
都との差	7ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

・基礎的・基本的な知識・技能の習得を計画的に継続的に伸ばしていくための授業改善をする。・文章をしっかり読み解き、理解を深めることによって、自分の考えをもち、それを表現できる実践的な力を身に付ける授業計画を立てる。・基礎基本を徹底させ、思考力・判断力・表現力に基づく問題を解決する能力を、確実に身に付けさせる。授業のねらいを明確にして見通しをもって授業を受けさせる。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合を示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。